

令和7年度事業報告

令和7年度は、公益目的事業である廃棄物処理事業及び環境保全啓発事業について、次のとおり事業運営を行った。

1 廃棄物処理事業

(1) エコパークいずもぎきの運営

エコパークいずもぎきの令和7年度の営業状況は、処理量 40,700 トン、料金収入 1,530,000 千円を見込んだところ、決算は、処理量で 2,598 トン減(6.4%減)の 38,102 トン、料金収入で 55,485 千円減(3.6%減)の 1,474,515 千円となった。

前年度との比較では、産業廃棄物の処理量で 2,260 トン減(7.3%減)、料金収入で 66,808 千円減(6.0%減)となったが、能登半島地震で発生した災害廃棄物の搬入により、一般廃棄物を含めた全体処理量では 1,012 トン増(2.7%増)、料金収入で 67,742 千円増(4.8%増)となった。

ア 令和7年度の営業状況

- ① 処理量 38,102 t (159 t/日、5.2 t/台)
- ② 料金収入 1,474,515 千円 (38,699 円/t、201,299 円/台)
- ③ 搬入車両数 7,325 台 (30.6 台/日)
- ④ 年間搬入受入日数 239 日
- ⑤ 施設視察者 37 団体 延べ 171 人 (前年比 198.8%)
(県外：9 団体 延べ 19 人、県内：28 団体 延べ 152 人)

⑥ 令和7年度の主な廃棄物の種類

種 類	処理量	構成比	単位：t、%、千円、%	
			処理料金	構成比
石膏ボード	4,621	12.1	157,840	10.7
選別等残さ ※「解体残さ」から名称変更(R5.1)	4,362	11.4	197,029	13.4
有機・無機・上水道汚泥等	3,584	9.4	93,666	6.4
鋳さい	2,729	7.2	52,229	3.5
廃プラスチック	2,653	7.0	122,575	8.3
非飛散性アスベスト	2,475	6.5	147,218	10.0
下水道汚泥	2,011	5.3	70,574	4.8
金属くず、ガラス、陶磁器くず	1,383	3.6	40,370	2.7
燃え殻	1,067	2.8	30,985	2.1
粗大不燃ごみ処理残さ	619	1.6	23,607	1.6
シュレッダーダスト	161	0.4	8,933	0.6
その他 (うち災害廃棄物)	12,437 (7,824)	32.6 (20.5)	529,489 (379,988)	35.9 (25.8)
合 計	38,102	100.0	1,474,515	100.0

⑦ 令和6年度の主な廃棄物の種類

種 類	処理量	構成比	単位：t、%、千円、%	
			処理料金	構成比
石膏ボード	6,255	16.9	213,642	15.2
選別等残さ ※「解体残さ」から名称変更(R5.1)	4,953	13.4	224,401	16.0
有機・無機・上水道汚泥等	4,400	11.9	112,234	8.0
廃プラスチック	2,886	7.8	133,313	9.5
鋳さい	2,637	7.1	49,148	3.5
非飛散性アスベスト	2,195	5.9	130,179	9.3
燃え殻	1,663	4.5	48,307	3.4
金属くず、ガラス、陶磁器くず	1,245	3.4	36,368	2.6
下水道汚泥	353	1.0	12,389	0.9
シュレッダーダスト	189	0.5	10,505	0.7
粗大不燃ごみ処理残さ	50	0.1	1,897	0.1
その他 (うち災害廃棄物)	10,264 (5,873)	27.7 (15.8)	434,390 (288,941)	30.9 (20.5)
合 計	37,090	100.0	1,406,773	100.0

⑧ 操業開始（平成11年度）から令和7年度までの主な廃棄物の種類

種 類	処理量	構成比	単位：t、%、千円、%	
			処理料金	構成比
選別等残さ ※「解体残さ」から名称変更(R5.1)	421,158	19.9	9,647,635	19.6
石膏ボード	278,686	13.2	5,859,939	11.9
有機・無機・上水道汚泥等	269,177	12.7	6,458,084	13.1
燃え殻、ばいじん、焼却残さ	260,662	12.3	5,958,513	12.1
廃プラスチック	165,216	7.8	3,467,373	7.1
鋳さい	106,694	5.0	1,482,999	3.0
シュレッダーダスト	106,189	5.0	2,964,449	6.0
下水道汚泥・し尿汚泥	96,527	4.6	1,827,285	3.7
金属くず、ガラス、陶磁器くず	92,190	4.4	1,455,219	3.0
粗大不燃ごみ処理残さ	76,148	3.6	2,499,935	5.1
非飛散性アスベスト	43,535	2.1	1,935,605	3.9
その他(災害廃棄物を含む)	198,188	9.4	5,592,870	11.4
合 計	2,114,370	100.0	49,149,906	100.0

イ 年度別営業状況等

①年度別計画処理量と処理実績

単位：t、%

年度	計画処理量 (a)	処理実績 (b)	(b) / (a)
令和7	40,700	38,102	93.6
令和6	41,600	37,090	89.2
操業開始からの累計	1,915,956	2,114,370	110.4

注：災害廃棄物、汚染土壌を含む

②年度別計画収入額と収入実績

単位：千円、%

年度	計画収入額 (a)	収入額実績 (b)	(b) / (a)
令和7	1,530,000	1,474,515	96.4
令和6	1,530,000	1,406,773	91.9
操業開始からの累計	45,611,924	49,149,906	107.8

注：災害廃棄物、汚染土壌を含む

(参考) 年度末残容量の推移

	処分場処理能力	残容量 (m3)
平成11年度末	1,484,000	1,407,536
平成12年度末	〃	1,289,660
平成13年度末	〃	1,135,558
平成14年度末	〃	1,050,642
平成15年度末	〃	943,756
平成16年度末	〃	846,730
平成17年度末	〃	754,535
平成18年度末	〃	662,291
平成19年度末	〃	568,077
平成20年度末	〃	512,290
平成21年度末	〃	462,870
平成22年度末	〃	400,559
平成23年度末	〃	305,515
平成24年度末	〃	250,208
平成25年度末	〃	186,950
平成26年度末	〃	125,719
平成27年度末	1,605,800	166,000
平成28年度末	〃	112,609
平成29年度末	〃	68,027
平成30年度末	2,543,200	908,999
令和元年度末	〃	786,209
令和2年度末	〃	678,530
令和3年度末	〃	586,877
令和4年度末	〃	519,308
令和5年度末	〃	481,261
令和6年度末	〃	449,598
令和7年度末	〃	417,284

注：残容量には覆土・押さえ盛土分を含む。

注：平成27年度末は第2期処分場積増後(+121,800m3)の容量。

注：平成30年度末は第3期処分場増設後(+937,400m3)の容量。

(2) エコパークいずもぎきの搬入量

令和4年度まで処理量が計画を上回って推移し、埋立完了時期が早まりそうな懸念があったことから、搬入量抑制方針に基づき実施した処理料金の引き上げにより、搬入量は抑制された。当初計画期間まで埋立が継続できると見込まれる。

一方で、値上げを契機とした産業廃棄物の県境を越えた他処分場への流出、リサイクル施設稼働による埋立処分量の減少などにより計画量を下回る搬入量となった。

(3) 次期処分場建設に向けた取組

施設整備の事業主体として、環境アセスメント準備書の審査、評価書の作成に着手し、建設に向けた準備を進めた。また、地権者と個別に接触し、用地取得のための契約手続きを進めた。

2 環境保全啓発事業

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく新潟県地球温暖化防止活動推進センターの事業として、県民や事業者に対する普及啓発に取り組むほか、引き続き、リサイクル推進事業の他、事業団の環境保全普及啓発事業を行う。

① 地域における地球温暖化防止活動促進事業

市町村や大学等と連携して地球温暖化防止の普及啓発を行うとともに、県が取り組む「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」や県が取り組む「2050 新潟カーボンゼロチャレンジ」の普及等を行った。

② 地球温暖化防止活動推進員等活動支援事業

地球温暖化防止活動推進員に対し研修会を開催するとともに、地域の環境講座への派遣等を行った。

③ 事業者向け地球温暖化防止活動啓発事業

県と共同で設置した推進協議会（プラットフォーム）を運営するほか、県内中小事業者等の地球温暖化防止の取組を促進するため、HP の活用やセミナーの開催等により情報提供・相談業務等を行った。

④ 「リサイクルアドバイザー」設置業務

産業廃棄物のリサイクルに係るアドバイス業務を実施するとともに、優れた3Rの取組などの情報収集や発信を行った。

⑤ 環境保全普及啓発事業

環境イベントへの参加、環境保全に関する地域活動の支援、環境学習の取組の推進等を行った。